

## 2020.2.9「介護保険のいまと未来を考えるつどい」参加者アンケート集計

### (1) あなたは?

- |                |        |
|----------------|--------|
| 1. 介護事業者・管理者   | ・・・10人 |
| 2. 介護従事者       | ・・・16人 |
| 3. 介護利用者・家族    | ・・・4人  |
| 4. その他の介護関係者   | ・・・1人  |
| 5. 医療関係者       | ・・・8人  |
| 6. 自治体職員       | ・・・7人  |
| 7. 団体・労働組合等関係者 | ・・・21人 |
| 8. 議員・議会関係者    | ・・・2人  |
| 9. マスコミ関係者     | ・・・0人  |
| 10. 一般市民       | ・・・5人  |
| 11. その他        | ・・・4人  |

### (2) この「つどい」をなんで知りましたか?

- |                 |        |
|-----------------|--------|
| 1. 実行委員会からの郵送案内 | ・・・4人  |
| 2. 介護事業所からの紹介   | ・・・5人  |
| 3. 団体・組織等からの案内  | ・・・42人 |
| 4. 友人・知人等からの紹介  | ・・・2人  |
| 5. チラシを見て       | ・・・12人 |
| 6. 新聞を見て        | ・・・1人  |
| 7. その他          | ・・・2人  |

### (3) 参加した理由はなんですか?

- |  |        |
|--|--------|
| 1. 介護の問題に関心があった                              | ・・・45人 |
| 2. 企画内容が良さそうだった                              | ・・・9人  |
| 3. 講師に関心があった                                 | ・・・5人  |
| 4. 介護事業所、団体・組織からの参加依頼・11人<br>(友人・知人等からの誘い含む) |        |
| 5. 自分のスキルアップになると思った                          | ・・・10人 |
| 6. その他                                       | ・・・1人  |

### (4) 講演について

#### ◆講演内容はいかがでしたか?

- |            |        |
|------------|--------|
| 1. 良かった    | ・・・61人 |
| 2. 良くなかった  | ・・・1人  |
| 3. 何とも言えない | ・・・7人  |

#### ◆内容は理解できましたか?

- |               |        |
|---------------|--------|
| 1. 理解できた      | ・・・48人 |
| 2. まあ理解できた    | ・・・18人 |
| 3. 少し理解できなかった | ・・・1人  |
| 4. 理解できなかった   | ・・・0人  |
| 5. 何とも言えない    | ・・・1人  |

#### ◆講演の感想をお書きください

- 家族の会の活動が分かりました。
- 当事者の方々の運動が政府の暴走の抑止力になっていることを実感した。いろんな団体が手を組んでいかなければと改めて実感しました。
- 資料の半分もお話しきれなかったのではないのでしょうか？とてもソフトで分かりやすいお話でした。
- 語り口が柔らかくて良かったです。
- 今の介護保険は使いにくい、必要な所、必要な時に使えなせん。制度を作っている国にしっかり考えて欲しいです。
- 介護保険制度がどんどん悪くなってきている。
- 地域・人とのつながりの重要性を学んだ。
- どんどん悪くなっていく制度を初心に戻そう、良くしていこう。行政の見直しに物申そう、やることいっぱい、20年だもの。
- 介護保険の将来（未来）良くしていかなければ、私自身の将来が不安であり未来がない。
- 人間の成長過程→誕生～幼児～少年・少女～青年～成人～高齢で様々な出来事に出会う。認知症もその一つでどのように支えてゆくか。政治の問題です。国民が賢くならなければならないと言う事を強く感じました。
- 家族の会が手をつなぐ活動のご苦労に頭が下がります。いい話でした。
- 会がいつも積極的に社会に働きかけていることをすごいな～と試みていました。今日の話聞いて、認知症の人の家族の切実な現実と想いがある原動力になっているのだと感じました。認知症患者が踏切事故を起こし、その家族に賠償命令が下る等患者も家族も生きづらさを抱える社会が変わる事、そのことに力を合わせる必要性を感じました。
- とても分かりやすく、シラバスもすぐに学習会に使いそうで良かった。
- 会の役割を改めて学びました。会の益々の発展を期待します。
- 家族の会の活動と介護保険の歴史は、大変勉強になりました。
- 資料がしっかりしていて分かりやすかった。
- 時系列的に話を進められ、経過がよくわかりました。
- 立派な活動をしていることが良くわかった。
- 認知症の人と家族の会をはじめて知りました。政府に事あるごとに要望書を出している。素晴らしい活動も知りました。
- 継続こそ力
- 昨年亡くなった母も認知症でした。4年間施設（有料）で生活していたので自分自身の生活を壊すことはありませんでしたが、毎週面会に行くたびに、壊れていく母を見るのがせつなくなりました。家族の会の事ははじめて知りましたが、とても心強い活動をされている事に感動しました。
- 家族の会大変心強い組織だと感じました。
- 実に話が上手、すごい頭の回転だ。
- 家族の会の大切さが理解できた。果たしている役割の重要性もわかりました。
- 家族の会の役割大
- 家族の会の活動は実体験に基づくもので説得力があり、国を動かす力は大きいと思います。今後の益々のご活躍を期待します。
- 「認知症の人と家族の会」という組織の存在をはじめて知りました。「本来もっと社会の手がさしのべられるべき」だと、最初から当事者が考えていたとお話しが印象的でした。
- 家族の会の歴史と運動を知ることができた。無地域で認知症は課題になるが、介護保険や家族の会につながらない。
- 家族の会のご奮闘に、頭が下がる思いがしました。
- 時間の経過とともに、変化したことがよくわかります。
- 当事者・家族が主体者として社会参加する大切さ、困難さ、そして力強さを感じることができました。

- 歴史を通して「家族の会」の重要性を知りました。このような会があることを知れて良かったです。
- 「認知症の人と家族の会」の歴史、役割がとてもよくわかりました。介護保険 20 年についても少しはわかりました。
- 安心して暮らせる社会保障が必要。
- 全体的に良かった。もう少し続きを聞きたかったのが本音でもあります。時間的制約の問題でやむを得ないですが。
- 介護保険がわかりづらい。ケアマネさえも、利用者にとってうまくつかうことができない。家族の声が心に残りました。
- 「認知症の人と家族の会」については新聞で見たことはありましたが、はじめて会の方のお話をうかがいました。これまでのご苦勞に頭が下がります。仕事で、認知症の方、家族の方と毎日接していますが、かかわり方がうすいなと反省しました。じっくりお話をうかがうことを、こころがけようと思いました。
- ケアマネの研修でも、自助・共助・公助の大切さを学びます。地域共生社会の大切さもケアマネの資質向上に大切とされています。でも、介護を受ける側としては、公助を必要していること、とても理解できました。介護認定はいらない。賛否両論の考え方だと思いますが、やはり、介護を受ける側にとっては必要な改革ですね。ケアプランの名のもとに、自分が受けたい介護が受けられない＝自分の生き方に制限を受けるということ。
- 家族の会の活動とそれによるご本人・家族が不安を減らして生活している姿がみたかった。
- 活動の大枠の紹介をしていただいて良かった。しかし、もっと認知症の方やご家族のお話を聞きたかった。
- もう少し詳しい話が聞きたかった。今の活動内容や行政との交渉状況など。
- 介護保険の改正内容が知る機会を持てなかったので参加しました。もう少し改正内容とこれからの変質していく状況を学びたかったです。グループホームで働いており要介護 2～5 までの方が入所。しかし、入所を申し込んできた人は要介護 1、徘徊の症状、特養への申し込みはできないという理由で訪れています。現在の認知症調査では家族のお困りごとが反映しません。見直しが必要と考えています。
- 介護の事が聞きたかったのでちょっと残念でした。
- 記念講演は家族の会の活動が分かったが、何を求めているかなどもう少し言及していただけると助かった。

#### (5) パネルディスカッションについて

##### ◆パネルディスカッションの内容はいかがでしたか？

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 良かった    | ・・・・・・・・44人 |
| 2. 良くなかった  | ・・・・・・・・4人  |
| 3. 何とも言えない | ・・・・・・・・11人 |

##### ◆内容は理解できましたか？

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1. 理解できた      | ・・・・・・・・35人 |
| 2. まあ理解できた    | ・・・・・・・・21人 |
| 3. 少し理解できなかった | ・・・・・・・・1人  |
| 4. 理解できなかった   | ・・・・・・・・0人  |
| 5. 何とも言えない    | ・・・・・・・・2人  |

##### ◆感想をお書きください

- パネラーの方の苦悩が伝わってきました。介護保険の仕組みを変えないといけないのではと強く感じました。
- 昔と比べて介護保険がだんだん使いづらくなっている。わかりづらいという言葉に重みを感じました。
- 認知症の人と家族の会の皆さんが作ってこられたように、介護保険を使っている人の家族の会の

ような物ができたらと思いました。

- 大変な現状ですが、何とか手探りで未来を考えているみんながいることを実感。
- フロアーからの発言がとても熱がこもっており、集いへの関心の高さ、そして制度への不安がとても高いこと感じられた。様々の方面から話が聞けて良かったです。
- 職場の実態が良くわかり勉強になりました。
- パネルディスカッションでのさまざまな人々、意見や経過の話しがとてもわかりやすかった。片倉氏のまとめが大変良かった。
- 大変参考になりました。
- 未来が描けた。
- パネラーの実態は良かった。もっと知りたかった。
- パネラーの方々の話はとても参考になりました。ケアマネも介護保険制度を知らなすぎと言う意見も耳が痛かったです。あれもやれこれもやれと言われ本質を見失っているのかもしれない。提出書類も莫大です。ケアマネ業もテキスト通りアセスメント、評価、計画の見直しきちんとやっていたら1日24時間では足りません。(それでも我が事業所は赤字だそうです)
- 現場の人の話は力強いなと思いました。医療現場からもっと介護問題も考えないといけないと思いました。
- 介護制度システムの状況課題に対する再認識ができた。
- 後半のパネルディスカッションでは介護現場の現状がよく理解できた。会場からの発言も多く良かったと思います。
- 当事者三橋さんのお話は耳が痛く、大変勉強になりました。
- パネラーの苦労話は聞くごとに大変さがわかります。政府のやっている税金の無駄遣いをやめさせて、充実した安心できる施設をいっぱい作れる政府に転換させるために国民よ目を覚ませ!
- 「家族の会」の方の介護の職員の仕事が忙しく、家族や本人の事をあまり見ていないと言う発言にショックを受けました。働いている人は一生懸命仕事をしているはずですが、家族とのコミュニケーションが足りないということなののでしょうか。介護保険制度がはじまりサービス事業所は大きく広がったと思います。それでも満足できるサービスが受けられない、必要なところに必要なサービスが届かない制度の矛盾に改めて不安を感じます。日本国民にとって介護保険制度を国民の求める制度にしなければ国民の人権保障も大きく崩されます。保険制度ではなく社会保障にするとところまで運動を進めなければ、私自身の老後の生活もままならないと思っています。
- 介護保険制度の20年、制度としての役割の原点に戻って考えなくてはと思った。
- 自らの問題であり、改善をどう自治体に声を上げていくか。
- 実体験を踏まえたお話には改めて敬意を感じました。介護保険サービスに民間が特に(株)会社までもが、参入しているというのがとにかく大問題につながっていると思う。
- 家族の会の方のご苦労が良くわかりました。現状の問題点がもう少し提案されるとよかったです。
- 制度を良いものにしていく方向でやっていくのが必要かな?と思います。
- 介護保険の未来も困難が続きそう。
- 明るい未来が見えない。
- 老人はくる道の点
- 介護保険についてもっとオープンに!!
- 介護保険の本来あるべき姿とは程遠いことが分かりました。特に財務省の役人は一度介護の現場に出てかつ、実際に認知症の方と密に接する機会を半年間(少なくとも)設けるべきではないかと感じました。
- 介護制度が改定されてきたが、良くなっているのか?私が(50代)が介護を受ける時はどのような制度になっているのか・・・しっかり見ていきたいと思いました。
- 今共有できる課題をもっと鮮明にしていきたい。キーワードは「地域」か?自治体と小規模事業者が地域で連携できる仕組み作りが大切か。
- 小規模だからきめ細かいサービスができたり、地域密着でお互い様の助け合いができると思うが、小さいと維持が困難なのは、利用者にとってもマイナス、特定加算、処遇改善ではなく、報酬を上げるべき。

- 20年、テーマが広いので、1時間20分では議論の進め方が難しいと思う。「介護保険こうあるべき！」みたいなテーマで次回パネリストから出してもらったものをディスカッションするとかはどうか。20年の制度の総括「延長線上で考えない」制度設計みたいなものが論議できれば。お金がないから、財源がないからではなく、目的をいま一度据え直し、制度を考えていくような企画が楽しそう、集いの提言みたいな。
- 介護保険料を払っているのに、介護保険を利用する権利はありますが、保険に頼る未来を考えるより、利用しないで最期を迎えられるように介護予防を頑張ろう！と言う意識を国民が持つことが大事だと思う。自分たち国民の意識を変えていく必要があると思う。
- 介護職場の現状も理解したが人生最後は介護を受ける事になる。もっと介護や社会保障について考える必要があると思う。
- 学区ごとで介護を、公務員がと言う案が興味深かったです。義務教育との比較も。
- 私現在70歳。子どものころ、身近なところに八百屋さん、魚屋さん、納豆売り、豆腐屋さんがあったが、スーパーに変わっていった。介護事業所も、やがては大手の市場となるのは残念ながらさげられないと考えている。大手スーパーの利点⇒価格が安い。大手介護事業所の増大⇒利用料の策減につながる。こうした中で、小規模が生き残るには
- 会場から意見はこれからの論議にとっても良かった。家族の意見、介護をしている人の意見をもう少し求めたら良かった。
- はじめてのことでしたが、問題が見えて参考になりました。皆様思いが多いのは（ストレスが多いのだとおもいます）わかりますが、前置きが長すぎるのだと思います。よって、核心の話にたどり着けないと思いました。政治的な改悪が多い事は同感しています。この事態を抜け出る仕組みを変える手段の話を知りたいです。
- 介護の問題は多岐にわたっているのに、ある程度テーマを絞って論議してほしい。介護が社会化されていく背景をもっと論議したいと思った。
- 少し散漫な感じがあったが、うまくまとめていただきこれから生かしていきたいとおもいました。
- もう少し時間があると良かった。
- もっと時間が欲しかった。
- パネルディスカッションの時間が短くて残念です。
- パネルディスカッションは、他の企画と合わせて行うのは、時間的に無理があるのでは。もっとしぼった企画にせざるを得ないのではないのでしょうか。
- コーディネーターからパネラーに対する突っ込んだ質問が欲しかった。焦点を絞ってシンポジウムを進めてほしい。会場の声はパネラーに対する質問であるべき、皆勝手なことをしゃべっていた。
- 深刻な実態が伝わってきます。パネラーの発言が最初だけだったのが残念。討論を経てからの発言も聞きたかった。
- 時間の制約がある中で、コーディネーターが時間をとりすぎた。会場の意見を受けてパネラーの意見を聞いたほうがよかった。
- パネリスト同士の意見交換が聞きたかった。保険者にも出席してほしい。
- パネルディスカッション、1名は女性を入れても良かったかと存じます。
- 質疑とありましたが、質疑がなく、個人的な感想が多く、時間がなかった。（係の人が「×」を出していたのが多かった）
- 働いている立場の女性シンポジストがいたらもっと良かった。
- 介護保険料の問題を発言するパネラーがよかった。

#### (6) 全体をとおして (つどいの運営など)

- |            |           |
|------------|-----------|
| 1. 良かった    | ..... 46人 |
| 2. 良くなかった  | ..... 0人  |
| 3. 何とも言えない | ..... 3人  |

## (7) その他お気づきの点やご要望

- (認知症サポーター) キャラバンメイトを 10 年やっています。家族の会の三橋さんの話、もう少し聞きたいです。
- 全体として、認知症の実態と介護の状況が分かったことはよかった。介護保険制度のこれからの運動をどうするかを聞きたかった。
- 仕組みをかえる⇒政治を改めることが重要です。現場の人たちは、日常業務の中で頑張っていることを理解しました。
- もっとぎっしりの参加者となるように、協力したいです。チラシを入れさせてくださってありがとうございました。
- 弱者にやさしくて、住みやすい世の中を構築していくべきではないかと感じました。
- ①外国人の人材活用についてどう考えるか。テーマにならなかった。今後大きな問題となると思うので、研究する必要がある。②現場で働く人の発信力が大切。労働組合の必要性を感じた。
- 今日は、とてもいい集会でした。次の介護保険集会も元気で参加出来たら良いなあと思っています。80 歳です。
- 駅から近い会場は参加しやすくありがたい。
- 運動に積極的にかかわらなければいけない、重要性を感じました。
- 妻が認知症の初期ではないか?と思うところがあって参加しました。制度が複雑で、理解するのが大変だと感じました。
- とても良かった。勉強になった。
- もう少し人を集めたい。マスメディアを呼ばないと。
- 多様な人の発言が多く、学びとなりました。運動の方法によって、国に悪用されることの難しさを感じました。
- 未来を思いえがくにはもの足りなかった。
- 今までの研修とはちょっと違った感覚で、勉強になりました。現場の声や介護者の話しも聞けて、課題も見え、日頃、自分が感じている疑問等も改めて考えることができました。
- 関係書類の販売をお願いします。例：長谷川和夫 Dr の本とか。
- 労働組合がんばらなければと思いました。講演者やパネラーに女性がいると良いと思いました。実行委員のみなさん、たいへんお疲れ様でした。
- 介護職やりがい 3K (感動、感謝、希望)